

**クラウドファンディングの取り組み****－名古屋大学附属図書館－**

名古屋大学附属図書館 竹谷 喜美江

名古屋大学附属図書館では、平成29年3月に「特定基金「名古屋大学附属図書館支援事業」」を設置し、若手職員によるワーキンググループを中心に、さまざまな支援事業に取り組んでいる。

クラウドファンディング（以下、「CF」）は、この支援事業の一つとして平成30年3月から2ヶ月間実施された。目的は「附属図書館が所蔵する、木曾三川に関わる国内最大級の古文書群「高木家文書」の整理・保存・活用」で、目標額は150万円であった。

<https://readyfor.jp/projects/TakagiDocuments>

特に力を入れたのは広報活動である。簡潔明瞭で魅力的なちらしを4,000部作成し、県外も含む図書館、博物館等60以上の機関に配布した。また、記者会見を行い、テレビ局や新聞社を通じて情報提供を行った。さらに、WEB上の広報として、SNS（Facebook）を立ち上げた。支援事業に関すること以外に、附属図書館のサービス紹介、イベントの告知、所蔵資料の紹介など、図書館の日々の活動を定期的に発信している。

CFの結果は、当初の目標を大きく上回る、244万4千円（達成率162%、支援者135人）であった。

支援者への特典は、金額によって異なるが、WEBサイトや銘板、蔵書票への芳名記載、図書館グッズの贈呈、イベントへの招待、貴重書見学ツアー、展示会の解説、などである。附属図書館では、平成31年5月までに全ての特典を完了すべく、感謝の気持ちを込めて鋭意取り組んでいる。

CFによって、私たちは直接の支援だけでなく、多くの方々に、「高木家文書」という東海地域の歴史的貴重資料の存在と、名古屋大学が資金に窮している状況を知っていただくことができた。加えて、現在も引き続き、支援者に日々の図書館の取組を伝える機会が頂けていることに感謝したい。



CF達成を総長と事務局長に報告